



2020年8月7日

各位

会社名 ソフトマックス株式会社  
 代表者名 代表取締役会長兼社長 野村俊郎  
 (コード番号: 3671 東証マザーズ)  
 問合せ先 常務取締役管理本部担当 濱平耕一  
 (TEL. 099-226-1222)

2020年12月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2020年2月14日に公表いたしました2020年12月期第2四半期累計期(2020年1月1日～2020年6月30日)の業績予想につきまして、本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2020年12月期第2四半期(累計)個別業績予想数値と実績値との差異  
 (2020年1月1日～2020年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,874	39	63	38	6.46
実績値 (B)	1,987	125	147	100	16.89
増減額 (B-A)	113	86	84	62	
増減率 ( % )	6.0	220.5	133.3	163.2	
(ご参考)					
前期第2四半期実績 (2019年12月期第2四半期)	1,736	100	111	57	9.65

(注) 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 差異の理由

当第2四半期累計期間の売上高につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による事業活動の制限はあったものの、院内での感染防止対策として非接触型の電子カルテ等医療情報システムに対するニーズもあり、期初見込んでいたソフトウェアの導入案件に加え、ソフトウェアの仕様追加、ハードウェアの更新などの新たな案件も売上追加となったことにより、当初の予想を6.0%上回ることとなりました。

一方、期初見込んでいた売上原価のうち、外注委託費用等の削減に努めた結果、売上高総利益率が改善し、利益面では、営業利益、経常利益、四半期純利益のいずれも大きく当初予想を上回ることとなりました。

以上